

実習の受け入れについて（お願い）

時下、貴社におかれましては益々ご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は、知的障がいのある生徒が職業教育を受けて企業就労を目指す学校として平成27年4月に開校しました。授業の一環として、現場実習を受け入れていただく企業を探しています。

現場実習は、生徒一人一人が卒業時の進路決定に向け、より具体的な目標を見つける大切な機会と考えております。また、学校を離れて社会で働くことの意味を知るとともに学校で身につけた力が社会でどれほど通用するのかなどを学習する貴重な機会でもあります。受け入れていただく企業の皆様が、現場実習を通し、本校生徒についての理解を深めていただき、雇用につきましてもご検討いただく機会となれば幸いと存じます。

つきましては、皆様方に実習の受け入れをお願いする次第です。ご多忙の折とは存じますが、趣旨をご理解のうえご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

実習について

○ ねらい

- ① 職場での体験を通して、働くことに対する意欲と自信を高める。
- ② 職場の規律を守って、生活することを通して、社会生活に必要な態度、習慣を身につける。
- ③ 生徒の特性や能力を理解していただくとともに、職場としての評価やご意見をいただき、学校の今後の指導に活かす。

○ 実習期間、形態等

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|---------|
| ・1年生（5日間） | 9月、1月 | 2人1組のグループ | 体験実習 |
| ・2年生（10日間） | 5月、9月、1月 | 個別実習 | 体験実習 |
| ・3年生（10日間） | 6月、10月、1月 | 個別実習 | 就労前提の実習 |

○ 就業時間

9:00~16:00（目安） 事業所様のご都合に合わせて実施します

※3年生の就労前提実習は実際の勤務時間に合わせます。

○ 実習の実施方法

- ① 実習前に教員、保護者同伴での事前面接を行い、実習に関する詳細について確認させていただきます。（通勤経路の確認含む）
- ② 実習は、授業の一環として行うため無報酬です。実習にともなう交通費、食費などの諸経費は保護者が負担します。
- ③ 実習中の事故については、「日本スポーツ振興センター」の災害共済給付及び「賠償責任保険」の対象となります。
- ④ 実習中、教員が巡回指導をいたします。必要に応じて、現場で生徒と一緒に作業させていただくなど実習先と相談しながら対応します。
- ⑤ 実習中は、生徒が実習日誌を記入します。1日を振り返り、実習先からもその日の様子などを簡単にご記入していただければありがたいです。
- ⑥ 実習終了後、別紙の評価票に評価をご記入ください。